



Taylor Swift Wins Groping Lawsuit

T・スウィフト、セクハラ裁判で勝訴



セクハラ裁判で勝訴したテイラー・スウィフトさん。求めた賠償金は1ドルだった



次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- 人気ポップ歌手のテイラー・スウィフトさんは、誰に対して逆訴訟を起こしましたか。
- 彼女はどんな理由で相手を訴えていましたか。
- 彼女はどこに寄付をすると約束していますか。



精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード (7) で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。
必要ならゆっくりスピード (ポーズ入り (8) / ポーズなし (9)) も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する (反訳練習)。



キーワード

jury
[dʒʊəri]

陪審

rule in favor of
[ˈfeɪvər]

～に有利な判決を下す、
勝訴の判決を下す

counter-lawsuit
[kaʊntərˈlɔːsɪt]

逆訴訟、逆提訴

grope
[ɡroʊp]

(体を) まさぐる

pay A B in damages
[ˈdeɪmɪdʒɪz]

Aに損害賠償金としてB
を払う



ナチュラルスピード

アメリカ英語



ゆっくりスピード (ポーズなし)

アメリカ英語

Taylor Swift Wins Groping Lawsuit

A Colorado jury has just ruled in favor of pop star Taylor Swift in her **counter-lawsuit against a** former radio host. Now, Swift had accused David Mueller of groping her at a 2013 meet-and-greet. Mueller was fired over the incident, and he will now have to pay the singer \$1 in damages. Swift is **thanking** her legal team and the jury for fighting on her behalf and for others who feel silenced by sexual assault. She is promising to donate to organizations that **help** sexual-assault victims defend themselves.

≫88 words (August 15, 2017)

T・スウィフト、セクハラ裁判で勝訴

コロラド州（連邦地裁）の陪審は、人気ポップ歌手のテイラー・スウィフトさんが元ラジオDJに対して起こした逆訴訟で、スウィフトさんの主張を認める評決を下したところだ。スウィフトさんは、2013年の交流イベントの際、（ラジオDJの）デービッド・ミュラー氏に体を触られたと訴えていた。ミュラー氏はこの一件がもとで解雇されており、（今回の評決により）彼女に賠償金1ドルを支払わなければならない。スウィフトさんは弁護団と陪審員たちに感謝を述べている、彼女のために、そして性的暴行を受けても声を上げられないと感じている他の女性たちのために闘ってくれたことに。彼女は、性的暴行の被害者が（社会的に）自分の身を守れるよう支援する団体に寄付をすると約束している。

（訳 石黒円理）

リスニングの
ポイント

実際の英語の母音の響きは、一般にイメージされている響きとは異なることがある。

1～2行目の **counter-lawsuit against a** ≪ [キャウンターラースーラゲンスタ]

4行目の **thanking** ≪ [センキン(グ)]

最終行の **help** ≪ [ハオブ]

実際の英語の母音の響きは、一般にイメージされている響きとは異なることがあります。アメリカ英語では、**counter**の下線部は、[カウ] よりも [キャウ] に近い響きになることがあります。また、**lawsuit**のlaw-の母音は、しばしば「オー」よりも「アー」に近く聞こえます。**against**（および**again**）の第2音節の母音（つづり字はai）は、[エイ] のように聞こえる二重母音で発音する話し手もありますが、英米ともに、短母音の[e]の方が一般的です。**thanking**のthank-の母音は、本来、catやmapの母音と同じですが、すぐ後ろに鼻に掛かった子音（つづり字はn）が続いているため、アメリカ英語では、「エ」に近い響きになることがあります。**help**の母音は、本来、短母音の[e]ですが、すぐ後ろに「オ」のように聞こえる[l]の音が続いているため、「ア」に近い響きになることがあります。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）